札幌市立陵北中学校

学校だより

ともに育たん

2026 年度
第６号
令和８年 11 月２日
発行

令和８年度　全国学力・学習状況調査　本校の結果の概要

今年４月、３年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果をお知らせいたします。本調査では学力調査（国語、数学、英語）および生活習慣や学習環境などを調査しました。本校の概要や今回の調査における課題、改善の方向につきましては、文部科学省や札幌市教育委員会より公表された発表に準拠した表現を用いております。調査対象は３年生でしたが、成果や課題は学校全体のものとして捉え、本校における生徒への教育活動の充実や学習状況の改善に役立ててまいります。

各教科（国語・数学・英語）の調査結果

各教科の本校の概要については、学習指導要領における各教科の領域について、本校の平均正答率を全国平均と比較し、下のように区分しております。

- ↑↑「上回っている」（＋３．１ポイント以上）
- ↑　「ほぼ同程度であるが、やや上回っている」（＋３．０ポイントの範囲内で全国平均を上回る）
- →　「ほぼ同程度」（全国平均と同じ）
- ↓　「ほぼ同程度であるが、やや下回っている」（－３．０ポイントの範囲内で全国平均を下回る）
- ↓↓「下回っている」（－３．１ポイント以下）

	本校の概要	今回の調査における課題（●）、改善の方向性（○）
国語	**「言葉の特徴や使い方に関する事項」** ↑↑全国平均に比べ、上回っている。 **「情報の扱い方に関する事項」** ↑↑全国平均に比べ、上回っている。 **「話すこと・聞くこと」** ↑↑全国平均に比べ、上回っている。 **「書くこと」** ↑↑全国平均に比べ、上回っている。 **「読むこと」** ↑↑全国平均に比べ、上回っている。	●語句の意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えること。 ●文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。 ●表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすこと。 ○語句の量を増やすとともに、話や文章の中でどのように使用されているか理解したり表現したりする学習活動の充実を図る。 ○聞いたり読んだりして得た情報を整理し、根拠を示しながら自分の考えをまとめていく活動の充実を図る。 ○表現の効果について、自分の考えを支える根拠を挙げながら自分の考えを書いたり発表したりする活動の充実を図る。
数学	**「数と式」** ↑↑全国平均に比べ、上回っている。 **「図形」** ↑↑全国平均に比べ、上回っている。 **「関数」** ↑↑全国平均に比べ、上回っている。 **「データの活用」** ↑↑全国平均に比べ、上回っている。	●具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすこと。 ●数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。 ●データの傾向を的確に捉え、判断の理由を説明すること。 ○与えられた条件に基づいてこれまでの学習を振り返りながら証明すべき事柄を整理し、数学的に表現する学習活動の充実を図る。 ○数量の関係を捉えたうえで、解決のために表、式、グラフをどのように用いればよいか説明する学習活動の充実を図る。 ○データから、傾向や特徴を正確にとらえたり、証明したりする学習活動の充実を図る。

本校の概要		今回の調査における課題（●）、改善の方向性（○）
英語	**「聞くこと」** ↑全国平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや上回っている。 **「読むこと・書くこと」** ↑↑全国平均に比べ、上回っている。 **「話すこと」** ↑全国平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すこと。 ●日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すこと。 ●音声や語彙、表現、文法などの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。 ○まとまりのある文章を読み、筆者の主張を捉えた上で、その内容に関する賛否や自分の意見、考えや気持ちをその理由や根拠の関係を明確にしながら内容を整理して書く学習活動の充実を図る。 ○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを意識して活動を行い、英語の音声や語彙、表現、文法の知識を話すことにおいて活用する学習活動の充実や、当該言語材料について理解するための指導の充実を図る。

生活習慣や学習環境等に関する調査結果から

生徒質問紙による生活習慣や学習環境等に関する調査結果から	
学習面	○学校の勉強のことについて、親や家族とよく話す ○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる ○先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う △1,2 年生のときの授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器をほぼ毎日（複数の授業で）活用していた △1,2 年生のときの授業で、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動をしていた
生活面	○学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思う ○人が困っているときは進んで助けている ○友達関係に満足している △将来の夢や目標をもっている △学校の授業以外に、普段から読書をしている △地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う

上の表は、子どもの学習状況及び、それに関わる生活状況について行った質問紙の調査結果です。全国の割合と比べて差異の大きい質問のうち、「○肯定的な回答が多いもの」と「△肯定的な回答が少ないもの」を学習面と生活面に分けて掲載しました。

肯定的な回答が多かった項目については、望ましい傾向ととらえ、さまざまな学校教育活動の中でさらに伸ばしていくことを目指します。また、肯定的な回答が少なかった項目については、本校の課題ととらえ、各教科の授業をはじめ、道徳や総合的な学習の時間、生徒会活動など、学校の教育活動全般において改善を図ってまいります。

今後とも、本校の教育活動に対しご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。